

数値目標の設定とサービス量の見込みについて

1 数値目標の設定に関する基本的手順

(1) 就労や地域移行等に関する目指す方向の明確化



(2) 成果に関する目標値の設定

入所施設の入所者の地域生活への移行（7%以上削減）
 入院中の精神障害者の地域生活への移行
 （平成24年度までに退院可能精神障害者の解消をめざす）
 福祉施設から一般就労への移行（4倍以上）



(3) サービスの見込量を算出

訪問系サービス等	現行の支援費制度の利用者数を基に、ニーズ調査等を踏まえて推計する。
日中活動系・居住系サービス	次の方法、ニーズ調査等を参考に推計する。 国のワークシートの活用 事業者への新体系サービスの移行調査

2 今後の課題等

心身障害者コロニーにおける地域移行の推進状況を踏まえた場合、上記の目標値を超えて数値目標を設定する必要がある。

各施設とも新体系サービスへの移行は、旧体系の単価設定、利用者の障害程度区分の認定状況等の理由により、現段階では明確な予定を立てることが困難な状況にある。

春日井市障害福祉計画においては、国のワークシートを参考にしつつ、事業者にも新体系サービスの移行予定調査を行うとともに、障害福祉サービス等に関する調査の状況を踏まえ、独自の手法により推計を行なうものとする。

<障害福祉計画 サービス見込量集計シート>

イメージ

自治体名

	18年度	19年度	20年度	23年度
居宅介護	〇〇時間分	〇〇時間分	〇〇時間分	〇〇時間分
重度訪問介護				
行動援護				
重度障害者等包括支援				
生活介護	〇〇人日分	〇〇人日分	〇〇人日分	〇〇人日分
自立訓練(機能訓練)	〇〇人日分	〇〇人日分	〇〇人日分	〇〇人日分
自立訓練(生活訓練)	〇〇人日分	〇〇人日分	〇〇人日分	〇〇人日分
就労移行支援	〇〇人日分	〇〇人日分	〇〇人日分	〇〇人日分
就労継続支援(雇用型)	〇〇人日分	〇〇人日分	〇〇人日分	〇〇人日分
就労継続支援(非雇用型)	〇〇人日分	〇〇人日分	〇〇人日分	〇〇人日分
療養介護	〇〇人分	〇〇人分	〇〇人分	〇〇人分
児童デイサービス	〇〇人日分	〇〇人日分	〇〇人日分	〇〇人日分
短期入所	〇〇人日分	〇〇人日分	〇〇人日分	〇〇人日分
共同生活援助	〇〇人分	〇〇人分	〇〇人分	〇〇人分
共同生活介護				
施設入所支援	〇〇人分	〇〇人分	〇〇人分	〇〇人分
相談支援	〇〇人分	〇〇人分	〇〇人分	〇〇人分